

特定非営利活動法人 だんでらいおん

令和2年度 事業報告

令和3年5月22日

新館 11:00～

《新型コロナウイルス感染症対策の取り組み》

①設備投資について

設備名	設置数	金額	備考
空間除菌脱臭機 ジアイーノ	11台	2,089,780円	令和3年度1台追加、計12台
センサー型手指消毒・石鹼ディスペンサー	58個取付・9個設置	747,758円	取付工事含む
非接触体温計	3個	15,513円	
PCR・抗原検査キット	PCR 70キット 抗原検査50キット	718,684円	別紙「購入・使用状況」参照
マスク、使い捨て手袋、防護服（71着）、 フェイスシールド、霧吹きボトル、アルコール 消毒液、次亜塩素酸水、石鹼液	多数	1,891,124円	
合計		5,462,859円	内 大阪府助成金2,230,000円

《新型コロナウイルス感染症対策の取り組み》

②職員への見舞金（慰労金）支給について

- 7 / 5 支給 2,280,000円（慶弔規程に基づいて支給）
- 12 / 5 支給 3,150,000円（緊急包括支援事業に基づく交付金を充当する）

この間、職員には職員同士の親睦、外食などの自粛を求めた。現在も継続して自粛している。

③地域貢献について

粟根施設長が、大阪府及び大阪府社会福祉協議会における「新型コロナウイルス感染症に係る社会福祉施設等への応援職員派遣要請に従い、下記の通り出向した。

- 1、派遣期間：令和2年12月22日（火）～令和2年12月26日（土）
- 2、派遣先：社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団 第2三恵園（障がい者支援施設）大阪府豊能郡能勢町大里222-5
- 3、派遣内容：グリーンゾーンにおける電話対応、衛生資材整備 等

PCR検査キット、抗原検査キットを常備し、体調不良者が出た際や週に1回の定期的な検査を行うことにより、新型コロナウイルス感染症の無症状者の早期発見、感染拡大防止の強化を図った。結果、**現在まで新型コロナウイルス感染症者は出ていない。**

《法人取り組みのまとめ》

(事業の開設及び再編)

- ・ 相談支援事業所の開設、生活介護事業所の再編を実施。 ※詳細は各事業報告にて

(改修工事)

- ・ 本館外壁等改修工事を実施。 6月11日に竣工。

(環境整備)

- ・ 生活介護事業所リアンにて「日産セレナ」を購入。 (日本財団助成金157万円)

《法人取り組みのまとめ》

(外部評価)

- ・評価機関NPO法人ほっと（堺）による第三者評価を受審した

生活介護事業所こんふおーと

(改善を求められる点) 事故・苦情等記録様式を統一して、再発防止に繋がる記録に努め、事故後の対応・経過についても検証できる工夫が必要

だんでらいおん居宅介護事業所（行動援護）

(改善を求められる点) 働きやすい職場として、出来るだけ労働時間に業務をしていく努力が望まれる

《法人取り組みのまとめ》

(地域貢献事業)

- ・大阪コミュニティ財団助成事業として（助成金額25万円）
令和3年3月29日（月）に『第9回地域学会 総合福祉セミナー』を新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン形式（LINE LIVE）で行った。
（追加備品 クリアパーテーション、動画保存用メディア、配信・録画用機器固定用具を購入）
『要介護者対応型避難所の準備』として、段ボールベッド6個、エアマットレス6個、災害対策用備蓄品セット12個を購入。
- 『小・中・高校生を対象とした地域ボランティア養成講座』『福祉教育講座』は開催を断念、中止となる。

(防災関係)

- ・ガス式インバーター発電機（共同募金助成）、スポットクーラー（よい美代子氏福祉基金助成）を導入した。

1、生活介護事業所「こんふおーと」「リアン」

【まとめ】

- ・利用実績については、前年度と比べ277名増加。収入については**事業の再編により、生活介護事業の介護給費収入は前年度に比べ17%増加。**

事業再編の現場への影響はまだ大きくはないが、徐々に事業所別という意識が出来てきた。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりスポンジ作業が減少、音楽活動を中止。かまどや出戸店の閉店によりポスティング作業も減少した。⇒**利用者様の経験拡大、作業・活動、工賃確保のため、令和3年2月ネスレMACHIECO便を開始。**
- ・アセスメントシートの情報整理・更新を年2回個別支援計画作成時に実施。今後も継続して行う。
- ・歩数計導入により、運動量が具体的に確認できた。今後データ化し、個別に目標数値を定めて運動量の向上、健康管理に努める。
- ・**利用者の会の規約（案）は完成**したため、今後、管理職・所属長会議等で確認し、令和3年度中の完成を目指す。

①開所日数262日（令和元年度267日）

②年間利用実績（こんふおーと）

区 分	こんふおーと	年間合計	1日平均
区分6	4330人	4330人	16.52人
区分5	865人	865人	3.30人
区分4	0人	0人	0人
合 計	5195人	5195人	19.82人

前年度より84名利用増

平均障がい者区分5.8

※人員配置体制加算（I）・重度障がい者加算支援加算を算定

③年間利用実績（リアン）

区 分	リアン	リバティ	年間合計	1日平均
区分6	2786人	518人	3304人	12.61人
区分5	0人	780人	780人	2.98人
区分4	0人	262人	262人	1.00人
合 計	2786人	1560人	4346人	16.58人

前年度より193名利用増

平均障がい者区分5.7

※人員配置体制加算（Ⅱ）・福祉専門職員配置等加算Ⅰ・重度障がい者加算支援加算を算定

2、共同生活援助事業所 みんなの家

【まとめ】

- ・入居者様の異変（脈拍や呼吸、体動など）にいち早く気づき、病気の悪化予防や転倒のリスク軽減のため、障がい福祉分野におけるロボット等導入支援事業の助成を受けて、各居室に見守りセンサー（計15台）を導入した。結果、利用者様の安心、安全へと繋がった。
- ・食事に関しては、栄養士監修のもと、適切なカロリー・栄養バランスのとれたものを提供。食事提供前に検食を行うことにより食事の安全・質の向上を図った。結果、ホーム入居者様15名のうち12名が体重減少に繋がった。
- ・通年の利用実績は、昨年度と比べ若干増加。世話人、生活支援員の実績配置は基準配置を大幅に上回る。訓練等給付費収入は前年度に比べ、2.4%増加。
- ・人間ドックは、新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせ。
- ・運動量に関しては、一日の歩数を記録に記載し、運動量を把握することにより、日中の運動の在り方を見直すきっかけとしている。

【年間利用実績】ホームに居た人数（延べ）

区 分	年間合計	一日平均
区分 6	4 6 5 4 人（前年度 4 6 2 8 人）	1 2 . 7 5 人（前年度 1 2 . 6 4 人）
区分 5	7 2 3 人（前年度 7 0 8 人）	1 . 9 8 人（前年度 1 . 9 3 人）
合 計	5 3 7 7 人（前年度 5 3 3 6 人）	1 4 . 7 3 人（前年度 1 4 . 5 7 人）

【年間利用実績】宿泊した人数（延べ）

区 分	年間合計	一日平均
区分 6	4 3 1 9 人（前年度 4 2 8 4 人）	1 1 . 8 3 人（前年度 1 1 . 7 0 人）
区分 5	6 6 7 人（前年度 6 2 7 人）	1 . 8 3 人（前年度 1 . 7 1 人）
合 計	4 9 8 6 人（前年度 4 9 1 1 人）	1 3 . 6 6 人（前年度 1 3 . 4 1 人）

生活支援員と世話人の配置（単位：時間）

【世話人の配置】 区分関係なし 4 : 1

【生活支援員の配置】 区分6 2.5 : 1 区分5 4 : 1 区分4 6 : 1

		年間合計	月平均
世 話 人	基準配置	7 8 2 0 時間	6 5 1. 6 時間
	予定配置	8 9 7 5 時間	7 4 7. 9 時間
	実績配置	8 9 7 8 時間	7 4 8. 2 時間
生活支援員	基準配置	1 1 8 9 0 時間	9 9 0. 8 時間
	加算配置	1 2 0 9 4 時間	1 0 0 7. 8 時間
	予定配置	1 4 5 6 1 時間	1 2 1 3. 4 時間
	実績配置	1 4 6 7 8 時間	1 2 2 3. 2 時間

3、だんでらいおん 居宅介護事業所

【まとめ】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、公共交通機関の利用は取りやめたが、利用者様のニーズに沿って、運動中心の計画を行ったことにより、利用者様の運動量は大幅に上がり、健康の増進へと繋がった。
- ・行動援護に関しては、サービス提供時間が約350時間減ったものの、時間単価の高い短時間のサービス提供（主に夕方のウォーキング）が大幅に増えたため、介護給付費収入は**前年度に比べ約9%アップした。**

行動援護

登録利用者数 19名 (前年度 19名)

登録ヘルパー数 31名 (前年度 31名)

	稼働ヘルパー数	活動時間		稼働ヘルパー数	活動時間
4月	28人	436.5時間	10月	29人	479.5時間
5月	24人	353.5時間	11月	26人	394.0時間
6月	27人	377.5時間	12月	28人	319.0時間
7月	28人	452.0時間	1月	27人	383.5時間
8月	28人	404.0時間	2月	29人	498.5時間
9月	27人	406.0時間	3月	28人	488.0時間

合計 4992.0時間 (前年度 5347.5時間)

移動支援

登録利用者数 4名 (前年度 6名)

登録ヘルパー数 16名 (前年度 17名)

	稼働ヘルパー数	活動時間		稼働ヘルパー数	活動時間
4月	0人	0時間	10月	0人	0時間
5月	0人	0時間	11月	0人	0時間
6月	0人	0時間	12月	0人	0時間
7月	3人	5時間	1月	0人	0時間
8月	0人	0時間	2月	0人	0時間
9月	0人	0時間	3月	0人	0時間

合計 5時間 (前年度 140時間)

4、短期入所事業所 ルポゼ

【まとめ】

- ・感染リスク低減のため、大阪府に緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されている際は、「**こんふおーと**」「**リアン**」に通所している利用者様に限定。⇒利用実績は前年度と比べ、7.2%減少。介護給費収入は4.8%減少となった。
- ・HPを活用した予約システムの導入については、新型コロナウイルス感染症の影響で最終の打ち合わせが遅れている。**令和3年度上期での導入**を目指し業者と打ち合わせを進めていく。

年間利用実績

区分	男性	女性	合計
区分6	658名	691名	1349名
区分5	116名	42名	158名
区分4	0名	0名	0名
区分3	0名	8名	8名
合計	774名 (前年度822名)	741名 (前年度803名)	1515名 (前年度1625名)

※ 前年度比 110名 (7.2%) 減

5、だんでらいおん 相談支援事業所

【まとめ】

ホーム入居者様 15名、地域の利用者様 1名と計画相談の利用契約を結び、円滑なサービス利用へと繋げた。

	年間合計	月平均
サービス等利用計画	20件	1.6件
継続サービス等利用計画	59件	4.9件

6、地域との連携

矢田ふれあい祭り、夜警とも中止

7、法人全体

●法人設立15周年記念行事

日時：令和2年11月3日(火)

内容：職員勤続表彰、ゲーム等

参加人数：利用者15名 家族12名 職員13名 計40名

●第9回 総合福祉セミナー

令和3年3月29日（月） 大阪城南女子短期大学第5学舎からオンライン配信

実践報告のテーマ	発表者
「Withコロナ～未来へ繋げる！重度知的障がい者の安全と地域社会の安心のために、コロナで学んだこと」	久保 哲哉（NPO法人だんでらいおん）
「クラスター発生施設への応援を通して感じたこと、学んだこと」	粟根 亮（NPO法人だんでらいおん）
「生活介護事業所こんふおーと・リアンにおけるコロナ対応」	森 正明（NPO法人だんでらいおん）
「コロナ禍でのモラルハザードと人権問題～苦情解決・第三者委員としての提言」	前田 崇博（大阪城南女子短期大学）
「コロナ禍での介護福祉士教育の現状と課題」	多田 鈴子 瀬 志保 長橋 幸恵（大阪城南女子短期大学）
若者応援プロジェクト 「私の夢・目標」①夢～私にできること～②挑戦～より良い生活のために～③発信～楽しいを広めよう～	奥廣 圭祐（THREE. PEACE333）

①外部研修

大阪府社会福祉協議会≪ 5名≫ 他団体≪ 1名≫

②内部研修

- ・常勤職員を対象 『新型コロナウイルス感染症対策について』
- ・職員18名を対象 『インバスケット演習を使って学ぶ優先順位設定力向上』
- ・常勤職員を対象 『福祉専門職のあり方』

③施設見学 ※新型コロナウイルス感染症を勘案し、見合わせる。

④リーダー研修（主担以上を対象）

⑤キャリアアップ支援制度

- 行動援護従業者養成研修 2名
- 強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践） 2名
- 相談支援従業者初任者研修 3名
- サービス管理責任者等研修（基礎研修） 3名
- 介護福祉士実務者研修 1名
- 介護職員初任者研修 1名

8、団体加盟

①大阪府社会福祉協議会《常任委員会：久保統括施設長・従事者部会：辻部長》

②東住吉区自立支援協議会 日中活動系 《森施設長》
東住吉区自立支援協議会 居住系・相談支援 《栗根施設長》

9、その他

●福利厚生（健康診断）

時期	内容	医療機関	対象者	受診人数
7月	①定期健康診断 (視力・聴力・血液・レントゲン・尿・ 心電図・内科検診 等)	・ 関西健康福祉協会	常勤 非常勤	16名 23名
11月	①定期健康診断 (視力・聴力・血液・レントゲン・尿・ 心電図・内科検診 等) ②インフルエンザ予防接種	・ 関西健康福祉協会	常勤 非常勤	32名 19名
3月	①人間ドック	・ 松原徳洲会	常勤 40歳以上 及び管理職	18名